市町村名	大府市	窓口	保健センター
住所	〒474-0035 大府市江端町四丁目2番地		
電話	(0562)47-8000	FAX	(0562)48-6667
E-mail	hkn-c@city.obu.lg.jp	URL	https://www.city.obu.aichi.jp/
【周産期医療機関へのPRコメント】			
母子健康手帳交付			
場所	大府市こども家庭センター（大府市保健センター2階）		
交付方法	個別面接にて交付		
スタッフ職種	保健師		
→保健師以外の場合の 気になるケースへの対応	家族構成、未入籍の場合は入籍予定の有無、ステップファミリーの有無、父母方実家の家族構成と市町村名、連絡先、里帰りの有無、育児協力の有無、他市への転出予定、仕事の継続予定、妊娠前の食生活、パートナーの協力、世帯の課税状況について記入してもらっています。		
市町村独自アンケート	あり		
内容・特徴	ウェブサイト、電話、来所にて完全予約制で対応しています		
こども家庭センター			
有 ・ 無（設置予定時期）			
名称	大府市こども家庭センター		
場所	大府市保健センター2階		
スタッフ職種	保健師 心理士、保育士、家庭児童相談員、社会福祉士も在籍		
内容・特徴			
パパママ教室・両親学級等			
名称	OBU パパ&ママサロンA	OBU パパ&ママサロンB	OBU パパ&ママサロンC
時期・回数	年6回	年4回	年4回
会場	保健センター（R7.4月～R7.9月） 石ヶ瀬会館（R7.10月～R8.3月）		こどもステーション
対象者	妊婦とそのパートナー		妊娠5か月以降の妊婦とそのパートナー
スタッフ職種	歯科医師、管理栄養士、保健師	大学教授、保健師	保健師、保育士
申込み方法	大府市ウェブサイト、電話、窓口のいずれかの方法		
内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんへの影響を考える お口の健康/歯科医師 ・妊娠中のバランスの良い食事/管理栄養士 ・育児グッズの選び方/保健師 ・交流会 ・費用100円/人 	<ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃんとの関係の築き方～アタッチメント理論の紹介～/大学教授 ・正しい抱っこ、着替え、おむつ交換の方法、妊婦体験 /保健師 ・交流会 ※事前に大府市公式 	<ul style="list-style-type: none"> ・出産に臨むための準備/保健師 ・子育て支援情報、親子遊び /保育士 ・交流会

		YouTube の講義動画を視聴してから参加	
子育て支援に関する事業（多胎児・外国人・転入者対象、MCG 等）			
名称	多胎児家庭支援事業		多胎妊娠の妊婦健診費用助成
時期・回数	妊娠中～3歳に到達した3月末まで		妊娠中・5回
会場			各妊婦健診実施医療機関
対象者	3歳未満の多胎児を養育している方又は多胎児を妊娠されている方のうち、日常の家事又は育児等に支援を必要とする方（ただし、同居する方から支援を受けられる方を除きます。）		大府市内に住所を有し、母子健康手帳を発行された多胎の妊婦
スタッフ職種	養成講習を修了した育児サポーター等		
申込み方法	大府市役所こども若者支援課又は健康増進課（保健センター内）へ事前に利用申請書を提出		受診票交付時に同時交付するため申請不要。 転入妊婦は交付申請書を提出。
内容・特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・自宅での一時預かり、見守り（家事や、一時的な休息をしている間） ・公立保育園での一時預かり（満1歳以上、月2日以内） ・授乳又は沐浴の介助 ・調理、掃除等日常的な家事の代行 ・移動時の介助、移動中の多胎児の見守り ・タクシー料金助成券の交付 ※利用には上限があります。 詳細はこども若者支援課（0562-45-6229）にお問い合わせください		<ul style="list-style-type: none"> ・単胎妊娠の標準とされている14回分の妊婦健診に5回分を追加し、計19回の妊婦健診の費用を助成します。 ・基本健診（一般健診、尿検査（蛋白および糖）、血圧測定） ・利用時期は医師の判断とする。
マタニティサロン・広場等			
名称	プレママ&0歳児を持つ親の交流会		
時期・回数	10回/年		
会場	こどもステーション		
対象者	妊婦、0～4か月児と保護者		
スタッフ職種	保育士		
申込み方法	事前申し込み必要		
内容・特徴	親子遊び、交流会		
産前・産後サポート事業／産前・産後ヘルパー			
名称	産前・産後サポーター派遣		
時期・回数	母子健康手帳の交付後～出生後6か月未満・80時間まで		
場所	利用者の居宅		
対象者	市内在住で母子健康手帳の交付を受けた妊婦と出生後6か月未満の乳児の保護者		

スタッフ職種	産前・産後サポーター（派遣員）			
利用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・市役所、保健センター、こどもステーションのいずれかで申請後利用券が届く。利用券が届いた後、直接登録事業者に派遣依頼する。 ・1日あたり、4時間以内かつ1か月あたり16時間以内で、合計80時間まで利用可能。 			
内容・特徴	<p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家事援助：利用者の居宅（市内）における調理、掃除等家事の手伝い（日常的でない家事は含めず） ・育児支援：乳児の見守り、沐浴介助等の育児支援。 			
産後ケア事業				
名称	産後ケア事業			
会場	産科医療機関と助産所			
対象者	産後1年以内の母子			
スタッフ職種	助産師			
利用方法	健康増進課へ事前に申請			
内容・特徴	<p>【内容】</p> <p>産科医療機関や助産所にて、宿泊または日帰り、訪問でお母さんの体やこころのケアを受ける場合、費用の一部を公費負担。</p> <p>【特徴】</p> <p>R6.4月よりメニューの拡大（①宿泊型②通常日帰り型③短時間日帰り型④訪問型）と、里帰り先などの委託外施設での利用は償還払い対応を開始、申請は出産前も可能とし、申請後に利用券（クーポン）を7日分発行する方法に変更。</p>			
子育て世帯訪問支援事業			養育支援訪問事業 専門的相談支援	
対象者	多胎児家庭であって、同居の者から支援を受けることが困難な場合等支援を受けることが適当と判断された世帯		育児に不安や困り感のある方	
スタッフ職種	養成講習を修了した育児サポーター等		育児支援家庭訪問員（こどもステーション）	
里帰り先への訪問				
申込み方法	大府市役所こども若者支援課又は健康増進課（保健センター内）へ事前に利用申請書を提出		こどもステーションへ連絡	
内容・特徴	一時預かり、家事援助、外出中の支援、相談対応			
	妊娠中の家庭訪問	新生児訪問	未熟児訪問	こんにちは 赤ちゃん訪問
対象者	母子健康手帳交付時等において希望がある方、支援が必	生後1ヶ月未満の児で希望がある方	2500g未満の児	全戸訪問

	要だと判断した方			
時期	妊娠期	～生後1か月	生後1～2か月頃	生後1～3か月頃 生後8か月頃
家族からの申し込み方法	保健センターへ電話等、連絡を入れてもらう。		低出生体重児届出時に希望を伺う。(赤ちゃん訪問の予約電話時にも体重確認を実施。)	助産師又は保健師が連絡。
医療機関からの依頼方法	家族の了解が得られていれば、医療機関からの依頼も受けることは可能			
スタッフ職種	保健師	保健師、助産師		
里帰り先への訪問	家族の希望があれば可能			
内容	健康相談。出産後のサポートについて。	育児相談。母子の体調、発育発達の確認。		
育児相談		電話相談 (こども家庭センター回答)		
担当部署	保健センター		保健センター	大府市こども家庭センター
名称	こども相談		健康相談	妊娠・出産・子育て・家庭児童相談
時期・回数	月1回、年12回		平日 8:30～17:15	平日 8:30～17:00
場所	保健センター (R7.4月～R7.9月) 石ヶ瀬会館 (R7.10月～R8.3月)		保健センター	大府市こども家庭センター
対象者	乳幼児及びその家族		乳幼児及びその家族	妊産婦とこども及びその家族
スタッフ職種	保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師		保健師 ※必要に応じて管理栄養士、歯科衛生士も対応可能	保健師、心理士、保育士
方法	R7.4月～9月は予約なし R7.10月～R8.3月はウェブサイトから予約必須		(0562)47-8000	(0562)57-0219
内容・特徴	体重、身長計測を実施。個別で保健師、管理栄養士、歯科衛生士、助産師、保育士が相談に応じている。		妊娠・出産・子育てに関する相談を実施	妊娠・出産・子育てに関する相談、18歳未満の児童の生活習慣・非行・児童虐待・不登校などの養育に関する相談を実施
離乳食教室・子育て教室等				
名称	離乳食教室		囃むカム幼児クッキング	

		※大府市健康づくり食育推進協議会主催
方法	集団	集団
時期・回数	月1回 年12回	年2回
会場	保健センター	保健センター
対象者	5～6か月児とその保護者	10か月～2歳前後のお子様とその保護者
スタッフ職種	管理栄養士、歯科衛生士、保育士	歯科医師、管理栄養士
申込み方法	予約制（大府市ウェブサイト、電話、窓口）	予約制（大府市ウェブサイト、電話、窓口）
内容・特徴	身長・体重の計測、5～6か月頃の離乳食の進め方の話、赤ちゃんのお口の育ちの話、だしの取り方、試食、個別相談 歯の話と一緒にすることでより咀嚼・嚥下の理解につながる。	幼児期は「食べる」「飲み込む」などの口腔機能の基礎が作られる大切な時期です。「噛めない」「上手に飲み込めない」「好き嫌が多い」等について参加者と専門職で共に考える講座です。 今年度はだしのとり方やだしを活用した調理実習も実施します。
5歳児健診		
有 ・ 開始予定 （R8年度） ・ 無		
名称	未定	
方法	未定	
時期・回数	未定	
対象	5歳児	
健診事後教室等		
名称	あそび教室	
方法	集団（年16回）	
場所	保健センター	
対象者	1歳6か月児健診、3歳児健診等における要観察児	
スタッフ職種	保健師、保育士、心理相談員	
利用方法	健診時・相談時等に紹介	
内容・特徴	自由あそび、親子あそび、個別相談	
思春期保健に関する事業		その他事業
名称	思春期電話相談	
時期・回数	平日 8:30～17:15（水曜日は 19:15 まで）	
対象者	中高生	
スタッフ職種	保健師	
申込み方法	なし	
内容・特徴	性の問題や成長による心身の変化等、思春期保健に関する悩みについて電話で相談を実施	